

ここが好き！ 安芸高田

目的・昨年度行ったスタートアッププロジェクト「安芸高田再発見！プロジェクト。」で発見した「安芸高田市の人口流出や伝統芸能"神楽"の担い手不足、若年層における認知度の低さ」といった課題に着目し、今年度は神楽を通じた地域活性化を目的として設定した。

ヒアリング

- 県立広島大学 和田崇教授、NPO広島神楽芸術研究所より専門的助言を受ける。
- 和田教授は「神楽をテーマとした地域活性化の研究」を発表している。
- NPO広島神楽芸術研究所は神楽に関するイベントなどの様々な実績がある。



▲県立広島大学

現地取材

- 「縄文あいす」ひとは福祉会、吉田神楽団練習場、神楽門前湯治村、「あきたかた焼き」認証店のお好みハウス花亭を取材・撮影・SNS協力する。



▲「縄文あいす」ひとは館

地域貢献・調査活動

- 「ひとはまつり」ボランティア参加、地域の交流会「あきたかたのひろば」に参加。
- 安芸高田市教育委員会協力のもと、市内小中4校へ神楽に関するアンケートを実施。



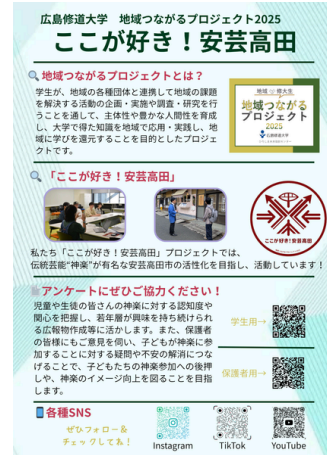
▲ひとはまつり

協議・連携

- 神楽門前湯治村、吉田神楽団
- 神楽体験イベント、SNSの運用について実際に訪問し、協議。



▲協議風景(神楽門前湯治村)



▲実際に小中学校に配ったアンケート

得られた成果

- ① SNS開設→安芸高田市の魅力を実際に広く発信することが可能になった。
- ② 神楽に関するアンケート調査の実施→今後のプロジェクトとしての広報活動や企画立案に活用できるデータを収集した。
- ③ 数多くの連携先に赴いたことで、プロジェクトの活動が大きく広がった。
- ④ ひとは福祉会のボランティアでは、障がいのある立場の方々と一緒に祭りを楽しみ、大学で学んだことを地域に活かす活動ができた。

作成してよかったもの

- プロジェクトの名刺を作成することで、連携先との話し合いがとてもスムーズに。左真ん中のイラストはメンバーが作成した。



▲名刺



▲吉田神楽団練習場での体験



▲神楽門前湯治村

課題と展望

- ① SNSの進捗遅延
- ② 目標だった神楽に関するイベントを年度内に実施できなかったこと

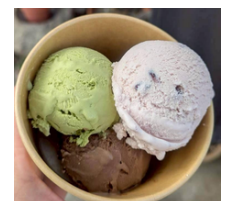
- 文字や画像の投稿よりも情報を得られると考え、動画投稿を目指すも、編集作業に想定以上の時間を要した。来年からは複数人での分担を行う。
- 関係団体との協議や企画の具体化に時間を要したこと、加えてイベントの集客をSNSのみに依存していた計画の甘さがあったため、これらの反省をもとに自ら足を運び、集客の増加につなげたり、SNSの更新を増やして魅力を届ける。
- TikTokやYouTubeなど、今年動かすことのできなかつたSNSを積極的に動かす。



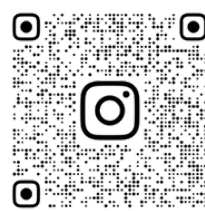
▲夜叉うどん



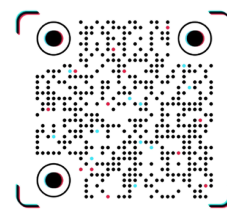
▲あきたかた焼き



▲縄文あいす



Instagramアカウント



TikTokアカウント



YouTubeアカウント